

問題

二〇二五年度 大東文化大学大学院【春季】入学試験

文学研究科 書道学専攻（博士課程前期課程）

二〇二五年二月十五日

科目名	
A方式 創作	
氏名	受験番号
採点欄	

2 創作 次の〔I〕～〔IV〕の中から一題を選び、半切に書きなさい。

落款は「大東書」または「大東かく」と書き、赤フェルトペン等で、印の位置、形、大きさを示しなさい（受験番号を左下に鉛筆で記入すること）。

〔I〕 次の漢詩を半切に書きなさい。ただし、書体・書風・構成は自由。

古墨輕磨滿几香 硯池新浴照人光

〔II〕 次の漢詩を半切に書きなさい。ただし、書体・書風・構成は自由。

獨在異鄉爲異客 每逢佳節倍思親
遙知兄弟登高處 遍插茱萸少一人

〔III〕 次の和歌を半切に書きなさい。ただし、漢字と仮名の変換、変体仮名の使用、書風、構成は自由。

萩の花咲きたる野辺にひぐらしの 鳴くなるなへに秋の風吹く

〔IV〕 次の言葉を半切に書きなさい。ただし、漢字と仮名の変換、書風、構成は自由。

花はなぜうつくしいかひとすじの気持ちで咲いているからだ

問題

二〇二五年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

文学研究科 書道学専攻（博士課程前期課程） 二〇二五年二月十五日

科目名

A・B方式共通 臨書

氏名

受験番号

採点欄

1 臨書 次の〔I〕～〔VI〕の中から一題を選び、半紙に書きなさい。

〔I〕 楷書 「高貞碑」仰敷四徳之美



〔II〕 行草書 趙孟頫筆「前後赤壁賦」託遺響於悲風



〔III〕 隸書 鄧石如筆「隸書『周易』謙卦六屏」君子用涉大川



〔Ⅳ〕篆書 呉讓之筆「篆書崔子玉座右銘四屏」道人之短

道人之短

〔Ⅴ〕仮名 藤原伊房筆「十五番歌合」六番 堤中納言 ひとのおやのこころはやみにあらねとも

こをおもふみちにまよひぬるかな

六番
ひとのおやのこころはやみにあらねとも
こをおもふみちにまよひぬるかな
堤中納言
おもふみちにあらねともこを
おもふみちにあらねとも
おもふみちにあらねとも

〔Ⅵ〕仮名 伝西行筆「二條撰政集」つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは

つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは
つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは
つねのあきはよそにきくにしむしのねをあはれと思ふたれによりそは